

考動・躍動・感動

“一生懸命取り組む”とは？

3段の壁 多くの支えで突破

高校生 原口 知弥
(岐阜市 17)

今年の2月に剣道3段を取得しました。ごく普通のことのようですが、実はそれまでに2回も不合格で残念な思いをしてきました。

1回目は、「とりあえず」という軽い気持ちで臨み、あえなく失敗。もっと鍛錬が必要だと思知らされました。その日から、高校で指導して下さるコーチや先生方、中学時代の恩師、

友人が通う道場の先生方、そして部活の仲間がたくさん稽古をつけてもらいました。

心身の鍛錬ができたと思ったところで、2回目に挑戦。しかし、緊張のあまり実力が出せませんでした。たくさんの先生が見守って下さる中で本当に申し訳ない気持ちと、「まだ鍛錬が足りない」という気持ちでつぶれそうでした。

この気持ちをバネにもう一度挑戦。見事、合格したとき、心の底から今までお世話になった方々への感謝が一気にわいてきました。この気持ちをきちんと伝え、これからも稽古をつけていただけるようお願いしたいと思います。

5月25日(土) 朝日新聞

「申し訳ない気持ちと『鍛錬がたりない』という気持ち」

「見事、合格したとき、心の底から今までお世話になった方々への感謝が一気にこみ上げてきました。」

先生はこの言葉にとっても納得しました。『一生懸命取り組んだからこそ』の、心からわき出てきた言葉だと思います。あなたは今、ここまで努力していますか？こんな気持ちがわき出てくるまで何かと必死に向き合っていますか？みんなにも中学校3年間で、こんな気持ちを味わってほしいと思います。



【2年生、最高のキャンプに！～事前の準備・計画・練習を大切に！～】

土曜日の夕方、2年生が無事にキャンプから帰ってきました。先生方の話を聞くと、天候にも恵まれ、とても素晴らしい2泊3日のキャンプだったそうです。“素晴らしい2泊3日”になった要因は、キャンプ当日の行動はもちろんですが、キャンプを迎えるまでの準備・計画・練習なども大きかったと思います。火の舞の人たち・有志発表の人たちは、毎日のように、昼放課や授業後に練習していました。室長会の人たちは、“みんなが楽しめるように！”“より充実したキャンプになるように！”ということ、各行事の企画・式の運営などを率先してやっていたそうです。さすが2年生ですね。



次はあなたたちの番です。来年のキャンプのこともあります、まずは来週の校外活動に向けて、『自分は何をすべきか？』『どんなことに気をつければいいか？』を今一度考えよう。より楽しく、より充実した行事になるかどうかは、あなたたち一人一人の力にかかってきます。